



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社
 コード番号 3435
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所

東

URL <https://www.sanko-techno.co.jp>

(氏名) 洞下 英人

(氏名) 安田 伸一

(TEL) 04-7178-6530

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,325	9.9	848	13.0	821	9.9	595	14.2
2022年3月期第2四半期	8,482	△0.7	750	13.2	748	12.8	521	15.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 808百万円(48.5%) 2022年3月期第2四半期 544百万円(39.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	75.61	74.82
2022年3月期第2四半期	66.28	65.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	20,108	15,105	73.6
2022年3月期	19,283	14,510	73.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,790百万円 2022年3月期 14,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	4.1	1,600	△6.8	1,560	△8.1	1,050	△2.0	133.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	8,745,408株	2022年3月期	8,745,408株
2023年3月期2Q	862,043株	2022年3月期	870,543株
2023年3月期2Q	7,877,698株	2022年3月期2Q	7,869,198株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は2022年11月25日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この説明会で使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への各種政策の効果もあり、社会経済活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが見られる一方、ウクライナ情勢の深刻化、急激な円安や物価高騰による景気の下振れも懸念され、依然として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられて徐々に安定化傾向が見られるものの、長期にわたる建設技能労働者の不足や設備投資抑制の影響に加え、鋼材価格が高騰するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2022年3月期よりスタートした「S.T.G Vision2023」“私たちは、独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります”（最終年度2024年3月期）のもと、「人財育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題への取組みを通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,325百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益848百万円（同13.0%増）、経常利益821百万円（同9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益595百万円（同14.2%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

①ファスニング事業

当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売が前年を上回る水準で推移したほか、完成工事高が好調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は7,237百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は993百万円（同9.6%増）となりました。

②機能材事業

電動油圧工具関連の販売は、海外販売が回復したものの、国内においては前年を下回る水準で推移し、前年比微減となりました。また、FRPシート関連、包装・物流機器関連の販売は前年を下回った一方、アルコール検知器関連、電子基板関連の販売は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,088百万円（同0.7%増）、セグメント利益は285百万円（同9.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は12,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ659百万円（5.6%）増加いたしました。増加の主な要因は、棚卸資産が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。固定資産は7,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円（2.2%）増加いたしました。これは主に建物及び構築物が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は20,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ824百万円（4.3%）増加いたしました。

流動負債は2,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円（1.7%）減少いたしました。減少の主な要因は短期借入金が増加した一方、買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は2,017百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円（16.1%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円（4.8%）増加いたしました。

純資産合計は15,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ、595百万円（4.1%）増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定及び利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して3百万円（0.2%）増加し、2,338百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、213百万円（前第2四半期連結累計期間は568百万円の増加）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が825百万円に加え、減価償却費が151百万円、売上債権の減少額が187百万円、仕入債務の増加額が280百万円となった一方、棚卸資産の増加額が687百万円、法人税等の支払額が299百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、255百万円（同71百万円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が346百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、22百万円（同326百万円の減少）となりました。これは主として短期借入金の減少額が100百万円、配当金の支払額が219百万円となった一方、長期借入れによる収入が400百万円となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,428,163	2,400,338
受取手形、売掛金及び契約資産	4,625,723	4,467,297
棚卸資産	4,549,050	5,320,976
その他	205,173	278,928
貸倒引当金	△3,045	△3,112
流動資産合計	11,805,065	12,464,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,521,494	1,700,437
土地	3,863,883	3,826,552
その他（純額）	862,803	874,652
有形固定資産合計	6,248,182	6,401,642
無形固定資産	168,894	155,349
投資その他の資産	1,061,254	1,086,750
固定資産合計	7,478,330	7,643,742
資産合計	19,283,396	20,108,171
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,603,521	1,886,619
短期借入金	130,188	30,000
1年内返済予定の長期借入金	166,404	203,067
未払法人税等	311,528	255,316
賞与引当金	122,688	186,254
その他	701,554	423,583
流動負債合計	3,035,884	2,984,839
固定負債		
長期借入金	379,041	642,544
役員退職慰労引当金	19,700	21,195
退職給付に係る負債	1,116,583	1,138,746
その他	222,080	215,113
固定負債合計	1,737,404	2,017,599
負債合計	4,773,289	5,002,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	587,647	590,491
利益剰余金	13,123,223	13,498,339
自己株式	△516,568	△511,524
株主資本合計	13,962,893	14,345,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,398	19,807
為替換算調整勘定	237,499	424,738
その他の包括利益累計額合計	260,898	444,545
新株予約権	57,538	57,538
非支配株主持分	228,777	257,751
純資産合計	14,510,106	15,105,732
負債純資産合計	19,283,396	20,108,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	8,482,698	9,325,202
売上原価	5,822,602	6,500,084
売上総利益	2,660,095	2,825,117
販売費及び一般管理費	1,909,761	1,977,020
営業利益	750,333	848,096
営業外収益		
受取利息	706	914
受取配当金	2,030	3,386
仕入割引	13,756	12,873
為替差益	17,086	-
持分法による投資利益	735	835
その他	21,947	27,468
営業外収益合計	56,262	45,478
営業外費用		
支払利息	1,168	1,504
売上割引	50,205	47,481
為替差損	-	16,765
その他	7,096	5,928
営業外費用合計	58,470	71,680
経常利益	748,126	821,894
特別利益		
固定資産売却益	5,055	4,195
特別利益合計	5,055	4,195
特別損失		
固定資産除却損	71	990
特別損失合計	71	990
税金等調整前四半期純利益	753,110	825,099
法人税等	227,491	229,358
四半期純利益	525,618	595,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,036	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	521,581	595,611

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	525,618	595,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,480	△3,589
繰延ヘッジ損益	△11,979	-
為替換算調整勘定	22,337	216,219
退職給付に係る調整額	5,076	-
その他の包括利益合計	18,915	212,630
四半期包括利益	544,533	808,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539,896	779,259
非支配株主に係る四半期包括利益	4,636	29,112

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	753,110	825,099
減価償却費	140,749	151,294
のれん償却額	2,974	6,055
持分法による投資損益(△は益)	△735	△835
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,209	15,283
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,505	1,495
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,393	62,244
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,305	169
受取利息及び受取配当金	△2,736	△4,301
支払利息	1,168	1,504
固定資産売却損益(△は益)	△5,055	△4,195
固定資産除却損	63	667
売上債権の増減額(△は増加)	△115,623	187,754
棚卸資産の増減額(△は増加)	△476,400	△687,479
仕入債務の増減額(△は減少)	380,330	280,240
その他	44,990	△323,866
小計	776,249	511,133
利息及び配当金の受取額	2,739	4,297
利息の支払額	△1,134	△1,724
法人税等の支払額	△209,848	△299,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,005	213,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△61,838	△30,683
定期預金の払戻による収入	38,409	68,346
有形固定資産の取得による支出	△275,987	△346,174
有形固定資産の売却による収入	228	58,985
無形固定資産の取得による支出	△36,519	△3,710
投資不動産の売却による収入	207,749	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	64,082	-
貸付けによる支出	-	△578
貸付金の回収による収入	694	227
その他の支出	△9,016	△2,913
その他の収入	422	681
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,774	△255,819
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△50,000	△100,669
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△68,554	△99,834
配当金の支払額	△204,141	△219,883
非支配株主への配当金の支払額	△90	△138
その他	△3,920	△2,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326,706	△22,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,873	68,277
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187,397	3,576
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,902	2,335,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,543,300	2,338,962

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	5,612,648	2,074,631	7,687,280	-	7,687,280
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	795,418	-	795,418	-	795,418
顧客との契約から生じる 収益	6,408,067	2,074,631	8,482,698	-	8,482,698
外部顧客への売上高	6,408,067	2,074,631	8,482,698	-	8,482,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,429	129,961	175,391	△175,391	-
計	6,453,497	2,204,592	8,658,089	△175,391	8,482,698
セグメント利益	906,049	261,984	1,168,034	△417,700	750,333

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,700千円には、セグメント間取引消去1,792千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△419,493千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	5,936,557	2,088,176	8,024,734	-	8,024,734
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	1,300,468	-	1,300,468	-	1,300,468
顧客との契約から生じる 収益	7,237,026	2,088,176	9,325,202	-	9,325,202
外部顧客への売上高	7,237,026	2,088,176	9,325,202	-	9,325,202
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,114	162,645	217,759	△217,759	-
計	7,292,140	2,250,821	9,542,961	△217,759	9,325,202
セグメント利益	993,426	285,671	1,279,097	△431,000	848,096

(注) 1. セグメント利益の調整額△431,000千円には、セグメント間取引消去2,581千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△433,582千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。